

小水力発電等による土地改良区の維持管理費負担の軽減

<概要>

- 事業実施主体：那須野ヶ原土地改良区連合
(栃木県那須塩原市)

- 発電設備：小水力発電・太陽光発電
発電出力 計1,900kW
発電電力量 計910万kWh/年

那須野ヶ原 （発電出力 340kW）	運転開始時期：平成4年6月
百村第一・第二 （発電出力 30kW×4）	運転開始時期：平成18年3月
臺沼第一 （発電出力 360kW）	運転開始時期：平成21年2月
臺沼第二 （発電出力 180kW）	運転開始時期：平成21年2月
赤田（太陽光） （発電出力 400kW）	運転開始時期：平成25年3月
新青木 （発電出力 500kW）	運転開始時期：平成26年3月



那須野ヶ原発電所
水力発電施設の外観と水車

- 建設費：19億7千万円

<特徴>

- 那須野ヶ原発電所は、国営土地改良事業として全国で初めて計画設置されたもの。その後、順次増設され、現在は小水力8基と太陽光1基が稼働。
- 発電した電気は土地改良施設へ供給するとともに余剰分を売電し、管内の農業用水路等の維持管理費に充当。
- 固定価格買取制度により売電価格が上昇し、農家からの賦課金の低減に貢献（具体的には、農家の賦課金が5,000円/10a(平成5年)から1,988円/10a(平成27年)に軽減）。
- 平成17年度第7回日本水大賞(農林水産大臣賞)受賞他。



百村発電所
水車設置前の水路と設置工事の様子

※ 農山漁村再生可能エネルギー供給モデル早期確立事業（H24）において支援（赤田（太陽光）、新青木）